

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

市民と野党の共闘で 安倍政治を終わらせよう 中国ブロック宣伝

参院選勝利で増税ストップを！ 中林よし子元衆院議員、尾村利成県議員訴える



尾村利成県議と中林よし子予定候補

中国5県の日本共産党は、19日、参院選での市民と野党共闘の勝利と党の躍進をめざし、いっせい宣伝しました。松江市では、中林よし子参院鳥取・島根選挙区予定候補、尾村利成県議、橋祥朗、吉儀敬子、田中肇の各市議が街頭演説し、「ウンと付度（そんたく）で政治モラルが大崩壊している、安倍政治を終わらせよう」と呼びかけました。

中林氏は、自民党の萩生田光一幹事長代行が10月の消費税10%増税について延

期の可能性もあり得るとの考えを示したことにふれ、「日銀の3月の『短観』も内閣府が3月に発表した『月例経済報告』でも、景気は回復していないとして

いる」と指摘し、「目前の選挙戦で『10%増税ストップ』の声をいっしょに上げていこう」と訴えました。尾村氏は、▽島根原発再稼働ストップ▽高い国保料の引き下げ▽住民合意のない松江北道路建設中止など、県議選で掲げた公約実現に全力を尽くすと決意表明しました。

メーデーやメイクピースに参加を 憲法9条守り、政治変える団結を

5月1日は、働く者の祭典メーデーが全国で開催されます。松江市でも、県民会館中ホールで、島根県中央メーデーの集会がもたれ、その後アピール行進が予定されています。

7月の参議院選挙で安倍暴走政治をストップさせるため、また市民と野党の共闘の輪を広げるためにも、今年のメーデーを多くの市民の参加で成功させましよう。

「広場」と「水辺」を生かして まちづくり講演会に参加して 吉儀敬子



講演する山下裕子氏(左側)右側が岩本唯史氏

歴史まちづくり部大橋川治水事業推進部が主催して市議を対象に16日「まちづくり講演会」が開催され、私と橋市議が参加しました。最初の講師は、山下裕子氏は、全国の広場づくりの経験を紹介され、特に富山市の広場づくりについて、市が年間900万円の委託料と人件費2100万円を支出しているという点で、広場に何故行政がそれだけの投資をするのか、疑問に思い質問しました。

山下氏は、広場に出かけることは、中心市街地が活性化し、公共交通が利用され、高齢者の医療費削減につながる、福祉面でも貢献していることを強調されました。

「水辺」を生かしたまちづくりの講師である岩本唯史氏は、和歌山市の取り組みに触れ、実験↓評価↓新たな取り組みの中で意欲ある人づくりがされていることを紹介。昨年10月に私も市議会「まちづくり対策特別委員会」の一員として視察した地域であったので、再度研究する必要を感じました。

また5月3日には「憲法9条は世界の宝」メイクピースの集いが島根県民会館で予定されています。渡辺治・一橋大学名誉教授による「市民の共同で安倍政権に終止符を！」の記念講演が予定され、また、オープニングコンサートとして、アカペラコーラスグループのニュートリノが集会を盛り上げます。集会后は会場周辺を15分程度パレードを行います。メーデーに、メイクピースの集いで、市民の政治を変えようという意思を大いに示したいものです。

つれづれ 徒然

激戦の島根県知事選挙と県議会議員選挙が終りました。県知事選挙では、自民党が三分裂し、多くの自民県議が推した丸山氏が当選しました。逆に自民党本部と国会議員が推薦した候補が敗れ、自民党の一元的県政支配が崩れてきたのです。安倍政権は、農林水産業を衰退させ、地方壊しをすすめる、人口減少をもたらし、自民党県連も県知事も、政府の言いなりに衰退に加担しました。地域の疲弊と県民の落胆は、限界に達したということでしょう。▼日本共産党が推薦した山崎やすこさんは、市民団体や労働組合が新しい政治団体を立ち上げ、無所属で出馬しました。「右も左もありません。島根を愛する人、みんな原発ゼロへ」をスローガンに、健闘しました。じつに28年ぶりの市民運動候補です。他の自民党三候補が原発問題でだんまりを決め込む中で、山崎さんただ一人、知事の権限で島根原発はもう動かさないと主張し続けました。▼日本共産党が尾村(松江)、大國(出雲)の県議2議席を勝ちとったことは、他の野党が議席を減らしただけに、存在感が増してきました。2年後には、松江市長選挙、市議会議員選挙が待っています。市民自ら要求を持ち寄り、実現に汗をかきましょう。選挙の取り組みにしたいものです。(和)